

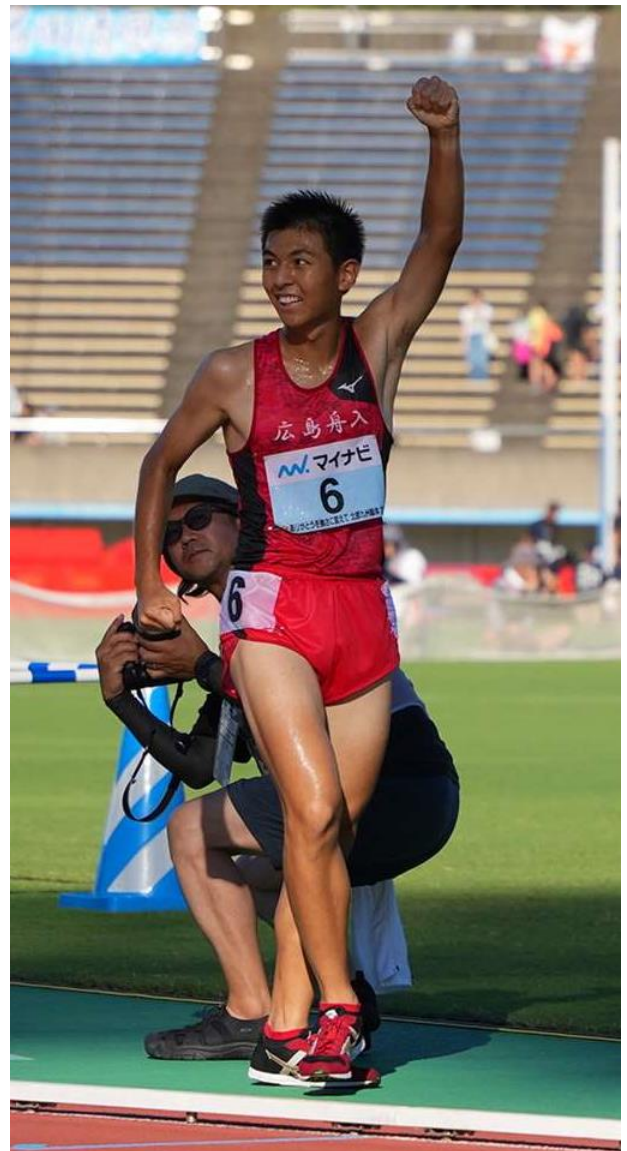
令和6年度全国高校総体(インターハイ)に参加して参りましたので、結果を報告いたします。

今大会は、「ありがとうを強さに変えて 北部九州総体 2024」と副題のついた大会で、陸上競技は福岡市の東平尾公園博多の森陸上競技場にて、7月27日～8月1日の6日の期間で開催されました。全国のブロック予選を勝ち抜いた猛者たちの熱い戦いが繰り広げられ、本校からは4名の選手が出場しました。

中島 壮一郎(3) 男子 5000mW 予選1組 21:32.40 3着Q →**決勝進出!**

**決勝 20:45.36 優勝!**

今大会では持ちタイム2位、総体ランキング3位と優勝候補の一角として福岡に乗り込むこととなりました。難なく予選を通過し、迎えた決勝。ライバル選手に先行を許しても冷静にレースを進め、1000mを8位集団で通過します。この時点で先頭に6秒のリードを許していましたがここからギアを上げ、1500m付近で先頭を捉えました。他の選手に並歩を許すことなくそのまま邁進し、3000m以降のラップタイムを4分14秒→4分10秒→4分06秒とビルドアップして他を突き放し、最後は独歩で栄光のフィニッシュラインを越えました。**舟入高校陸上部 74年ぶりのインターハイ優勝**を飾ってくれました。(75年前、舟入高校という名称になった初年度に男子1500mで谷本昭さんが優勝しておられます)

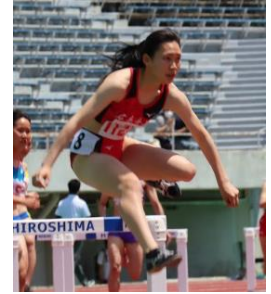


写真提供:ATHLETE News様

大月 彩恵(2) 女子 100mH 予選6組 14.17(+1.0) 3着q →準決勝進出!

準決勝3組 14.55(-1.2) 8着

予選で公認自己ベストを記録し、各組2着以下からタイムの良い8名が進出できる+αで準決勝に進出しました。続く準決勝では連続自己ベストとはならなかったものの、全国舞台で勝負強さを見せてくれました。まだ2年生ということで、来年は広島インターハイでの決勝進出・入賞を誓い夏のトレーニングに取り組んでいます。



※この写真は県総体のものです。

中谷 隼人(2) 男子800m 予選7組 1:54.16 5着

地区総体で準決勝敗退となりながら、県総体5位で中国総体進出、続く中国総体でも下馬評を覆し6位に入りインターハイの舞台まで来た絶好調の2年生が、インターハイの舞台でも自己ベストを更新する走りを見せてくれました。あと0.06秒というところで惜しくも準決勝進出とはなりませんでしたが、この舞台で自己ベストで走った自信と悔しさを胸に、秋シーズンでの活躍を目指し再び努力の日々を送っています。



川添 恵里(3) 女子砲丸投 予選2組 10m46 22等

女子やり投 予選1組 40m43 21等

1年生から中国大会の常連として活躍してきてくれましたが、3年生の夏、ついに初のインターハイの舞台に立ちました。2種目での出場を果たし、自己ベストとはなりませんでしたが、粘りの投擲を見せてくれました。舟入高校投擲パートを支え続けてくれ、明るい声かけでチーム全体に元気をもたらし続けてくれた川添さんには、部員一同尊敬と感謝の念をもってします。これで高校陸上生活は一区切りとなります。お疲れ様でした!



猛暑の福岡でしたが工夫して涼をとりながら、実り多き大会にすることができました。応援ありがとうございました。